

その他のアフターフォロー

追跡調査とは別に、譲渡後の動物たちの様子を把握し、適正飼養をさらに勧めるために以下のような楽しいイベントを実施しているところもあります。

こうしたイベントの中から、飼い主同士のグループができたり、譲渡事業に協力してくれるボランティアが増えたり、また、マスコミや地域に向けてのとても良い広報のチャンスになります。ぜひ実施してみましょう。

里帰りイベント

譲渡された動物（主に犬が対象）が、家族と共にセンターに里帰りする日を設定し、参加を呼びかけます。大勢の犬たちが集うこうしたイベントの実施にあたっては、事故防止のためにも、しつけインストラクターやボランティアスタッフの協力は不可欠です。



しあわせ家族写真コンテスト

譲渡された動物と家族の楽しい写真を送ってもらって、センターに展示したり、その中から「笑顔が一番賞」「そっくりで賞」などを決めて表彰したりというイベントもよく行われます。これなら、猫も参加できます。

地元の新聞社に協力してもらい、優秀作品を新聞に載せてもらえば良いPRになりますし、飼い主家族にもうれしい思い出となります。



COLUMN 10

和歌山県の事例「里帰りイベント」

和歌山県動物愛護センターでは、譲渡後のフォローアップとして、「みんな集まれ！譲渡犬」というイベントを年2回開催しています。これは譲渡された犬たちが家族と共に、センターに里帰りして、しつけを基本にしたゲームなどをセンタースタッフや、ボランティアのしつけインストラクターの指導の下に楽しむイベント。こうした機会があると、譲渡犬たちのその後を知ることができます。また、こうした譲渡後の交流の中から、譲渡犬（および猫）の飼い主による、「わうくらぶ」という組織も誕生。写真コンテストやしつけの講演会などを通じて、会員相互の親睦を図り、地域の模範的な飼い主として、センターと共に正しい飼い方の普及をすることを目的としています。こうした活動が口コミで広がり、犬を飼うならセンターから……という希望者を増やすことにつながっています。